

大将軍小だより 特別号

～全国学力・学習状況調査から～

平成 28 年 10 月 27 日

京都市立大将軍小学校

校長 西村 彰高

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果

4 月 19 日に、本校 6 年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語と算数の 2 教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子ども達の状況をお伝えします。

総合結果(国語・算数)

国語 A, B と算数 A, B の 2 教科全てにわたり、全国平均を上回る結果となりました。特に、国語 A ・ 算数 A においては、5 ポイント前後上回る正答率でした。

国語科より

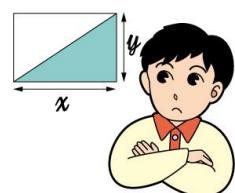
全国平均を上回る結果ではありますが、国語 A (知識) ではひらがなで表記されたものをローマ字で記述する解答に誤答が多く見られました。国語 B (活用) では、質問の意図や報告文の書き方の効果を捉えること、また目的に応じて文章の内



容を的確におさえた上で、自分の考えもまとめて書く問題の正答率が低い結果となっています。

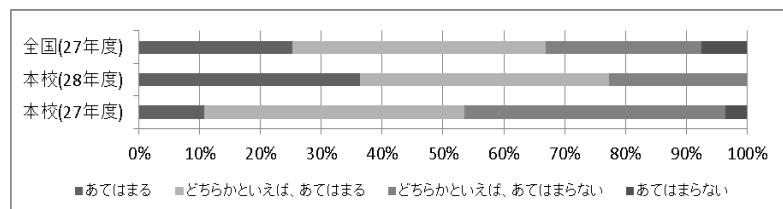
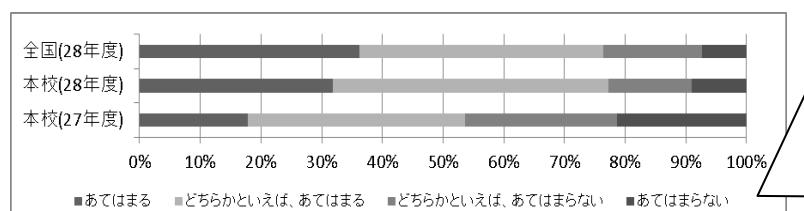
算数科より

算数においても全国平均を上回る結果ではありますが、算数 A (知識) では大きな課題は見られないものの、算数 B (活用) では、示された式の中にある数値の意味を解釈して書く、式の意味を説明する、といった記述式の正答率が低くなっています。文や図形から根拠を読み取ったり、情報を集めて判断したりすることに課題が見られる結果となりました。



児童質問紙調査から①

下の図の上側は、「自分に良いところがあると思いますか」、下側は「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の調査結果です。

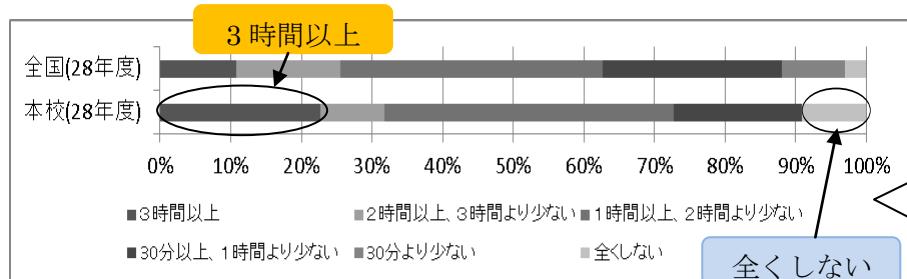


全国平均に比べて、自分の良いところがあると思っている児童はやや少ないですが、昨年度に比べてかなり上昇してきています。自尊感情が高い方が自信をもっておこなうことができ、成果も見られます。

また、自分の意見をしっかりとともって交流することも大切です。話し合うことで考え方方が多面的・多角的になっていきます。この 1 年の取組の結果、昨年度に比べて、交流の大切さを感じている子どもが増えています。

児童質問紙調査から②

下の図は、学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）の調査結果です。



図は平日の結果を表したものですが、土日、休日も同様の結果が見られました。

昨年に引き続き、家庭での学習時間は全国平均を上回っていますが、全くしない割合も高いです。

全体を通した本校の成果と課題

本校では「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という方針のもと、学力向上の取組に関しては、昨年度より基礎・基本の定着を図ること、表現力をつけることをめざして、全国調査やジョイントプログラム等の学力情報も活用しながら、日々の指導方法の改善や個に合った指導に努めています。

基礎・基本の定着を図るために、子どもたちには1年生の時から自らのテスト結果等の成績を振り返らせ、うまくできなかった問題についてテストをやり直したり、補充プリントで繰り返し学習したりしています。また、京都市の傾向として「家庭での学習時間が全国平均に比べて少ない」という結果がみられるため、本校でも家庭の協力を得て家庭学習がしっかりとできるように働きかけています。宿題は各学年の担任が範囲や量を調整するとともに、毎日やりきるように指導を重ねています。

その結果、今年度も全体としてではありますが、基礎・基本の定着が図られているという結果が得られたのではないかと思います。ただ、児童質問紙調査②のとおり、家庭での学習を全くしない割合が全国平均を上回っていることが課題です。こつこつと学習を積み重ねることが大切です。土曜・日曜・休日も含めた家庭での学習時間を増やすことが、自分自身の将来設計、言い換えれば進路実現につながっていきます。意識して30分でも家庭学習を増やせるように指導していきます。

子どもたちの表現力をつけるために、大将軍タイムや各教科で学習したことの発表会、学校行事等を活用していきたいと考えています。経験するということがとても重要です。

昨年度からの課題として見られた「自尊感情」や「話し合い活動の重要性」については、学校での取組や地域・家庭の協力を得て、児童質問紙調査①のとおり、昨年度より改善された結果となりました。ただ、自尊感情については全国に比べてやや低い状況ですので、これからも「自分に自信をもつ」取組を進めていく必要性を感じています。

保護者の皆様へ

全国調査は子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、また順位を競うものではありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねによって定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果を見ると、学力は着実に伸びてきており、ご家庭での子どもに対する積極的な関わりや指導・支援の成果が表れています。引き続き、本校の課題解決に向けて、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。

